

## ことばの教室 自立活動学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金)5校時  
児 童 1名  
指導者

1 単元名 リズムに合わせて正しく発音しよう  
「キ・キャ・キュ・キョ」

2 単元について

(1) 児童について

略

(2) 教材について

「キ」の子音[k]は、奥舌を上げて軟口蓋に押しつけて息をせき止め、急に奥舌を下げ息をだすと[k]音になる。「キャ・キュ・キョ」の子音[kj]音は、[ki]の構えから、速やかに「ヤ[j] ュ[j̥] ヨ[jo]」にすると[kj, kj̥, kjo]になる。[k]音は視覚的にも聴覚的にも正しい構音を捉えにくく、本児には正誤弁別の難しい音と考える。また、「キ」は日常会話で使用頻度が高いだけでなく、正しく定着しにくい音だと言われている。そこで、正音と誤音を聞き分ける力をさらに高めながら、児童が意欲的に何度も繰り返し練習できるように、学習内容を工夫していきたい。

(3) 指導にあたって

「キ」の音づくりの段階では、母音[i]や半母音[j]の口形を安定させ、子音[k]との連結を「舌の動き 無声化 有声化」という順にスムーズに音づくりができるよう導いていく。正誤弁別力を高める手立てとして、発音練習の各段階に合わせた聞く練習を工夫していく。そして習熟の段階では単位時間の一部の時間を聞く練習とするのではなく、単位時間全体の中で「先生のまちがいみつけ」「自分のまちがいみつけ」という形で他者弁別や自己弁別する機会を多く設けることで、正誤弁別力を高めていきたいと考える。

さらに、音を強化する段階や習熟練習に歌を取り入れ、手や体を動かしながら発音練習をする活動を工夫することで、発音面での改善だけでなく感覚的な発達を促すための支援もしていきたい。

### 3 本単元に関わる児童の実態及び単元の目標

#### (1) 児童の実態

##### 構音検査

- ・ 側音化構音（側舌化）

[ i ][ k i ][ k e ][ g i ][ g e ][ Ç i ][ n i ][ p i ][ b i ][ m i ][ r i ]

及びその拗音

構音器官の形態・機能

- ・ 形態 特別な問題は見られない

##### 聴力

- ・ 異常なし。

コミュニケーション

- ・ 誰にでも抵抗なく，楽しく話すことができる。
- ・ 日常の会話では発音の誤りにせず話している。

#### (2) 単元の目標

キ・キャ行の正しい発音の仕方を身につけ，日常会話で使えるようにするとともにリズム良く歌ったり音読したりできる。

### 3 指導計画

時数	段階	主な学習内容 (*は耳の学習 はリズム的な学習活動)
1	音づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい舌がわかるかな(視覚での弁別 触覚での弁別)</li> <li>[k]の単音練習</li> <li>カイ, クイ, コイの練習</li> <li>舌の挙上 脱力 イの口形になる練習</li> </ul> * 音がかわったかなあてっこ(異同弁別) * キの ×あてっこ(正誤弁別) 歌詞はキだけで,好きな歌を歌う。
2 ・ 3	他音節練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>母音と連結をする練習(語頭 語尾 語中)</li> <li>ハ・マ・ヤ・バ・マ行と連結する練習</li> <li>タ・ダ・ナ・ラ行, カ・ガ行と連結する練習</li> <li>ア段, オ段, ウ段, エ段, イ列音で連結する練習</li> <li>キのことはサンドイッチ</li> </ul> * キのまちがいみつけ(2音節, 3音節の中から誤音をさがす) 五十音あわせすごろくをしながら, 教師の模唱をまねる。
4	単語練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>キのつく単語みつけ(他音節連結の復習をしながら) 単語しりとり</li> </ul> * 単語の ×あてっこ(自己弁別) * 単語の ×あてっこ(他者弁別) (相手が発音した単語が正しくできたかどうか「できた。」「できない。」のように言いながら正誤弁別をする。)
5	短文練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に見つけた単語を組み合わせて, 文を作り正しく発音する練習</li> </ul> * キのまちがい見つけ(文中から発音を誤った単語をさがす) 教師がリズムよく言った全文を聞いて正しく復唱する。
6 ・ 7	拗音練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>半母音の練習</li> <li>キと半母音を連結させる練習</li> <li>キャ, キュ, キョのつく単語練習</li> <li>キャ, キュ, キョのつく文練習</li> <li>キャキュキョの口形指さしあてっこ</li> </ul>
8 本 時 ・ 9 ・ 10	習熟練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌をうたう。 「虫のこえ」「糸まきのうた」「山の音楽家」「きゅつきゅつきゅつ」</li> <li>詩集の音読「つりかわさん」</li> <li>長文の音読「きつねのきしゃごっこ」</li> <li>教科書からキのつくことばを見付け, 気を付けて音読する。</li> <li>早口ことば 「キ」のつくタッチゲーム 「9のかぞえ歌」を作り練習する。</li> </ul>

#### 4 本時の指導

##### (1) 本時の目標

リズム遊びを楽しみながら「キ・キャ・キュ・キョ」を正しく発音できる。

##### (2) 展開

段階	主な学習活動	支援の手立て	備考
導入 5分	1 はじめのうたを歌う。 ・いとまきのうた 2 課題を確認する。 リズムよくキ・キャ行を正しく発音しよう。	・リラックスして歌えるように歌いはじめの雰囲気や和らげるようにする。	歌詞カード
展開 35分	3 舌の体操をする。 ・パラちゃんジャンケン 3 回 (舌合わせ 舌出し 舌出し) ・発声うがい 4 母音・半母音の口形練習をする。 ・あえいうえおあお ・やえいゆえよやよ 5 「キ」のつくタッチゲームをする。 ・「きります。きります。どの木をきります？」 ・「きたきた きたきた だれがきた？」 6 「9のかぞえ歌」を作り練習する。 例 きゅうりが9本 きゃきゆきよ きゅうこん9こ きゃきゆきよ	・リズムよくできたら賞賛する。 ・特に「イ」「エ」の口形の時、顎がずれないように意識させる。 ・教師がわざと誤った発音をした時には、カードを取りに行かないという制約をつけることで、聴覚的な正誤弁別力を高めるようにする。 ・数え方を考え自分だけの数え歌をつくる喜びも大切にして、楽しくたくさん練習できるようにする。	母音口形カード 絵カード 穴あき詩カード
終結 5分	7 本時のまとめをする。 ・感想を書き、発表する。 ・次時の学習を知る。	・めあてをふり返り、自分のことばで言えるように支援する。	

##### (3) 評価

リズム遊びを楽しみながら「キ・キャ・キュ・キョ」を正しく発音できたか。